

第2章 スポーツ振興施策の推進

基本計画の構成

「SADO」のスポーツはみんなのもの、誰でも、いつでも、いつまでも気軽に親しむことができる社会、すなわち「生涯スポーツ社会」の実現を図るために、【SADO】 『SUPPORT』・『ACCOMPANY』・『DO』・『ORGANIZE』を振興の柱として基本計画を策定します。

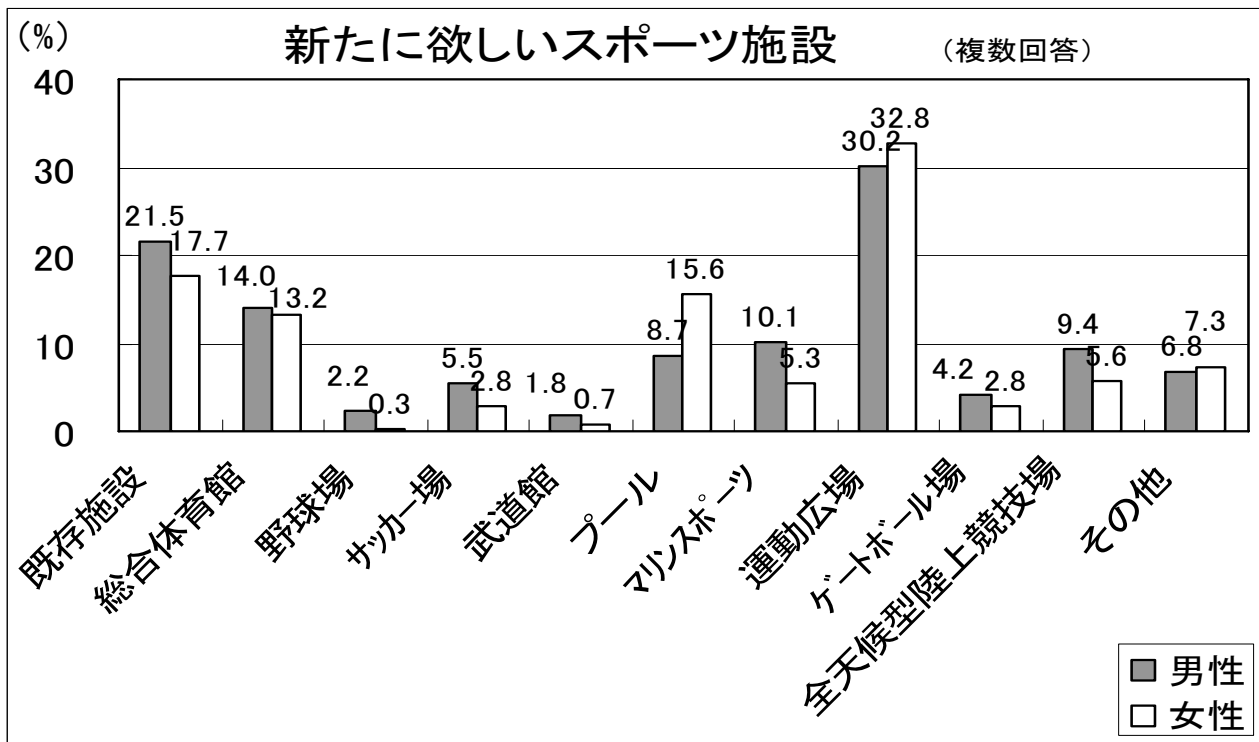
1 支えるスポーツ「SUPPORT」サポート

【安心で気軽に利用できる施設の整備や指導者の養成、活用】

●施設の整備と充実

基本的な考え方

市民スポーツの振興を図るためには、スポーツ施設の必要性、活用実態及び市民意識の把握を行うとともに、子どもから高齢者、障がい者まで、誰もが気軽に安心して利用できる地域スポーツの拠点となる公共スポーツ施設の整備充実を図ります。



現状と課題

- (1) 市内の体育館等をはじめとする体育施設は、比較的充実しているものの、学校統合による空き施設や学校開放を含めた体育施設が数多く点在し、効率的に活用されていないのが現状です。
- (2) 観光資源としての自然を活用したスポーツの振興も進んでいるが、マリンスポーツやトレッキングなどは地元市民の参加が多くない状況です。
- (3) 体育施設の整備に関する要望は、運動公園や全天候型陸上競技場、個人利用ができるトレーニング施設を付帯した総合体育館への期待が高まっています。各地区の体育施設も老朽化が進んでおり、施設の効果的な利用が出来るような拠点となる施設の整備が求められています。

また、利用形態としては、各団体での使用頻度が高いが、個人の利用が少ないのが実態です。そこで、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりが必要です。

推進の方策

- (1) 現有施設の有効活用を進めるため、今後のスポーツ施設全体の施設管理の在り方を検討することが必要です。
- (2) 島の特性を考慮し、民間との連携の強化を図り、体育施設以外の海、山などの自然環境を有効活用できるよう努めます。
- (3) 総合的なスポーツエリアを整備し、競技志向・レクリエーション志向・健康志向等のスポーツを実践しやすい環境整備に努め、託児機能やスポーツ相談機能等の充実に努めます。



佐渡レガッタ（加茂湖）

●指導者の確保、養成

基本的な考え方

各種スポーツ指導者の質の向上は、スポーツ環境整備の中で最も重要な事項のひとつですが、とくに、各地区と関わるボランティア指導者は、市民とスポーツとの楽しい出会いを演出する大事な役割を持っています。そうした観点から、指導者に対して、最低限必要な知識、技能を得るための研修機会の提供を行う必要があります。

現状と課題

- (1) 市内各地域には、優れた指導者が生涯スポーツの環境づくりを進めるコーディネーターとして活動していますが、全市に周知されていない状況です。
- (2) 市民のスポーツ活動への参加意欲を高め、幅広い市民ニーズに応えるためにも、スポーツ指導者の養成が必要とされていますが、市内の現状としては、指導者が研修する場に恵まれていないのが実情です。
- (3) 競技志向・レクリエーション志向・健康志向等のそれぞれのニーズに応えた指導者の養成が求められています。

推進の方策

- (1) 各種のスポーツニーズに応えた指導者を確保し佐渡市全体を統括するスポーツ団体を確立します。また、地域市民のニーズに応えるため、スポーツ指導者登録バンクを設置し活用します。
- (2) 体育指導委員をはじめとして、専門的な知識や技能を持つ有資格指導者等の育成のために、研修会や講習会への参加を勧め、資格取得を奨励します。
- (3) スポーツボランティアの支援を行なうため、スポーツボランティアの役割や活動内容への理解を広め、社会参加の一つの形態として認知度を高めていくとともに、各種スポーツプログラムを実施する中での活動支援を行ないます。

●スポーツ活動の啓発と広報体制の充実

基本的な考え方

市民が生涯にわたりスポーツに親しむため、それぞれの体力や年齢、目的に応じて楽しめるスポーツをする機会・きっかけやスポーツをする場の提供など、気軽にスポーツに取り組める環境づくりを進めます。

現状と課題

- (1) スポーツ実践者を増加させるためには、スポーツの有用性や実践方法等を継続的に啓発する必要があります。
- (2) スポーツを始めたい人や個人でスポーツ施設を利用したい人がどこへ相談、連絡をすればよいのか、地域住民にはわかりにくい現状です。
- (3) レクリエーションや健康に関する情報も、各組織や団体によって独自に発信されていますが市内のスポーツイベント等に関する情報などスポーツ全般を網羅する総合的な情報媒体はありません。

推進の方策

- (1) 市のスポーツ活動や健康・体力づくりに関する情報を取りまとめた広報活動をするため、スポーツ情報の有効活用を行う体制づくりに努めます。
- (2) 健康・体力の保持増進に関連する機関との連携を図り、総合的なスポーツ情報の収集と整理に努めます。
- (3) スポーツ実践に関する啓発を進めるとともに、スポーツ団体の活動状況や各種イベント等の情報を提供するため、インターネットや広報紙、ケーブルテレビ等の有効活用を図り、情報発信に努めます。



ドンデン高原駅伝競走大会

2 一緒に行うスポーツ「ACCOMPANY」アカンパニー

【体力づくり、心づくり、さらにまちづくりを目指したスポーツライフを楽しむ意識づくり】

●地域の活性化

基本的な考え方

スポーツの楽しさや役割は、多種多様な要素が考えられますが、その必要性は、多くの人が認めているところでもあります。生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むために、生活の中にスポーツを定着させたいと考えます。また、スポーツに対する市民一人一人の取組みが身体的・精神的な健康をつくり、さらには、社会全体の健康に関する意識の高揚につながることを、市民に伝えていくことが必要です。

現状と課題

- (1) 佐渡市は、面積が広く、交通が不便なことが、スポーツの発展の阻害要因となっています。地域ごとに行っているスポーツ活動に頼る部分が多分にあるので、地域の人材を活用し、従来のスポーツイベントを維持していくことが重要です。
- (2) 地域での伝統的な活動（運動会、駅伝大会、各種スポーツ大会等）が担い手不足のため、徐々に衰退しつつあるのが現状です。

推進の方策

- (1) 広域的な活動に配慮し、親子の健康づくりや子どもと高齢者が一緒にできるスポーツを推奨することにより、多世代で行うことができるニュースポーツの実践・普及に努めます。
- (2) 総合型地域スポーツクラブを育成し、地域住民の中に日常的なスポーツの定着を図ります。
- (3) 地域での伝統的な活動を維持継続するため、地域住民が主体的に活動できるように行政と連携し活性化を図ります。

※ 「総合型地域スポーツクラブ」

いつでも、どこでも、だれでも継続的にスポーツに親しめる環境をつくるため、地域住民が自主的な運営を行なう地域に根ざした複合スポーツクラブを言う。

●佐渡の特色を生かしたスポーツの充実

基本的な考え方

佐渡はこれまで地域を中心とした生涯スポーツに取り組むと共に、恵まれた気候や自然を生涯スポーツの振興に生かしてきました。近年は、スポーツニーズの多様化や健康づくり、環境に対する意識が高まっており、多様なスポーツ活動が進められると同時に、豊かな環境や自然の中で行うスポーツ事業が求められています。

いつでも、だれでも、いつまでも生涯にわたってスポーツに親しみ心身共に健康を保つためにも、その地域の特長を生かした生涯スポーツの振興に努めなければなりません。

現状と課題

- (1) スポーツの多様化、健康に対する意識の高まりから登山やトレッキング、マリンスポーツを行うために佐渡を訪れる人が増えています。
- (2) 佐渡は自然環境に恵まれており、夏期の佐渡は涼しく天候も良いためスポーツを行うには絶好の環境となっています。
- (3) 施設の充実、コースの整備、そこまでの交通手段など環境の整備が不十分です。
- (4) 島内外からも参加できるイベントや事業が定着することにより、参加者が増加するなど大会を盛り上げています。



佐渡国際トライアスロン大会

推進の方策

- (1) 自然を生かした特色のあるスポーツとしてどのようなことができるのか検討し、施設やコース、交通手段などの環境整備に努めます。
- (2) 島外から来るスポーツ愛好者、団体に対応できるように、各施設の連携、宿泊施設などの調整を図ります。
- (3) トライアスロンやロングライド、各地区で行っているマラソン大会を、島内外から参加できるスポーツ事業として広く募集します。
- (4) 積極的に施設や事業の情報を島内外に発信し、個人や団体等だけでなく、島外の高校や大学、各種専門学校に対してもホームページ等を通して情報提供を行います。



佐渡ロングライド210

3 するスポーツ「DO」ドウ

【気軽に誰もが健康で過ごすための生涯スポーツづくり】

●幼児期からスポーツに親しむ環境づくり



親子水泳教室

基本的な考え方

青少年の健全な発達は、学校教育に依存するだけでなく、家庭や地域が協力して子どもたちを育てていくという発想に立ち、子どもたちに学校内外でのスポーツ活動の機会を積極的に提供することが必要です。地域で子どもたちを支援することにより、地域の将来を担う青少年の健全な育成を図り、自分たちの住んでいる地域コミュニティの活性化を目指します。

現状と課題

- (1) 親子が触れ合う機会や場、地域での交流が少なくなるとともに家庭や地域の教育力が低下傾向にあります。
- (2) 児童生徒の体力低下、肥満傾向も課題であり、家庭や学校との連携した取組みが求められています。

推進の方策

- (1) スポーツの習慣化を図るため、幼児期から「遊び」を通してスポーツに親しめるように、安全に安心して遊べる場所の確保や身近な場所でできるスポーツの推進に努めます。
- (2) 親子、家族で参加できる体験的なスポーツ、体力向上や肥満防止の運動を推進し、幼稚園、保育園、小・中学校と連携してその定着を図ります。
- (3) 多様な種目に親しむこと、一つの種目を十分に学ぶことなど、子どもたちの様々なニーズに応じた指導や支援ができるようなスポーツ環境をつくります。
- (4) 仲間づくりやコミュニケーション能力の育成、家庭や地域の連携を深めるために、地域での活動、幼稚園、保育園、小・中学校と連携した活動を推進します。



出前講座 (キンボール)

●定期的な運動・スポーツ実施率の向上

基本的な考え方

健康の増進や体力の向上に対する市民の意識が高まっており、身近にできる運動やスポーツが求められています。スポーツ活動を主体的に親しむスポーツ愛好者を増やすためにも、これまで各地域が推進してきた生涯スポーツの諸事業をさらに発展させなければなりません。個々の体力や年齢、興味や目的に応じた運動やスポーツが、継続的に実施できるように生涯スポーツの振興に努めます。

現状と課題

(1) 平成 17 年度に実施した生涯学習に関する市民の意識調査では、「週 1 回以上のスポーツ」を行っている割合は、30.3%であり、スポーツをする人と全くスポーツをしない人の二極化が進んでいます。

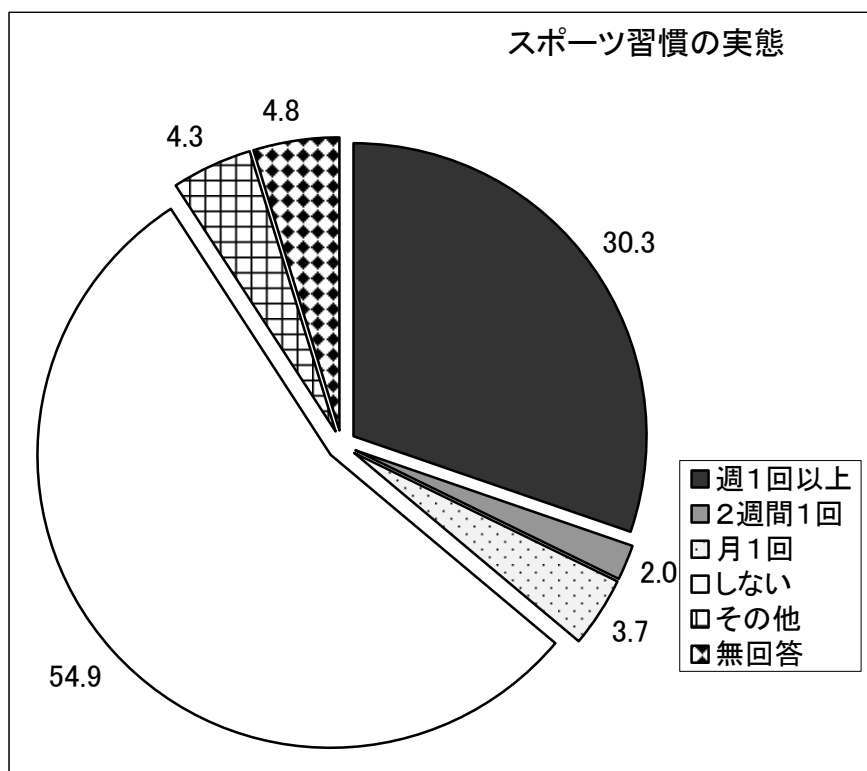
(2) 「ウォーキング」「ヨガ」など、いつでも

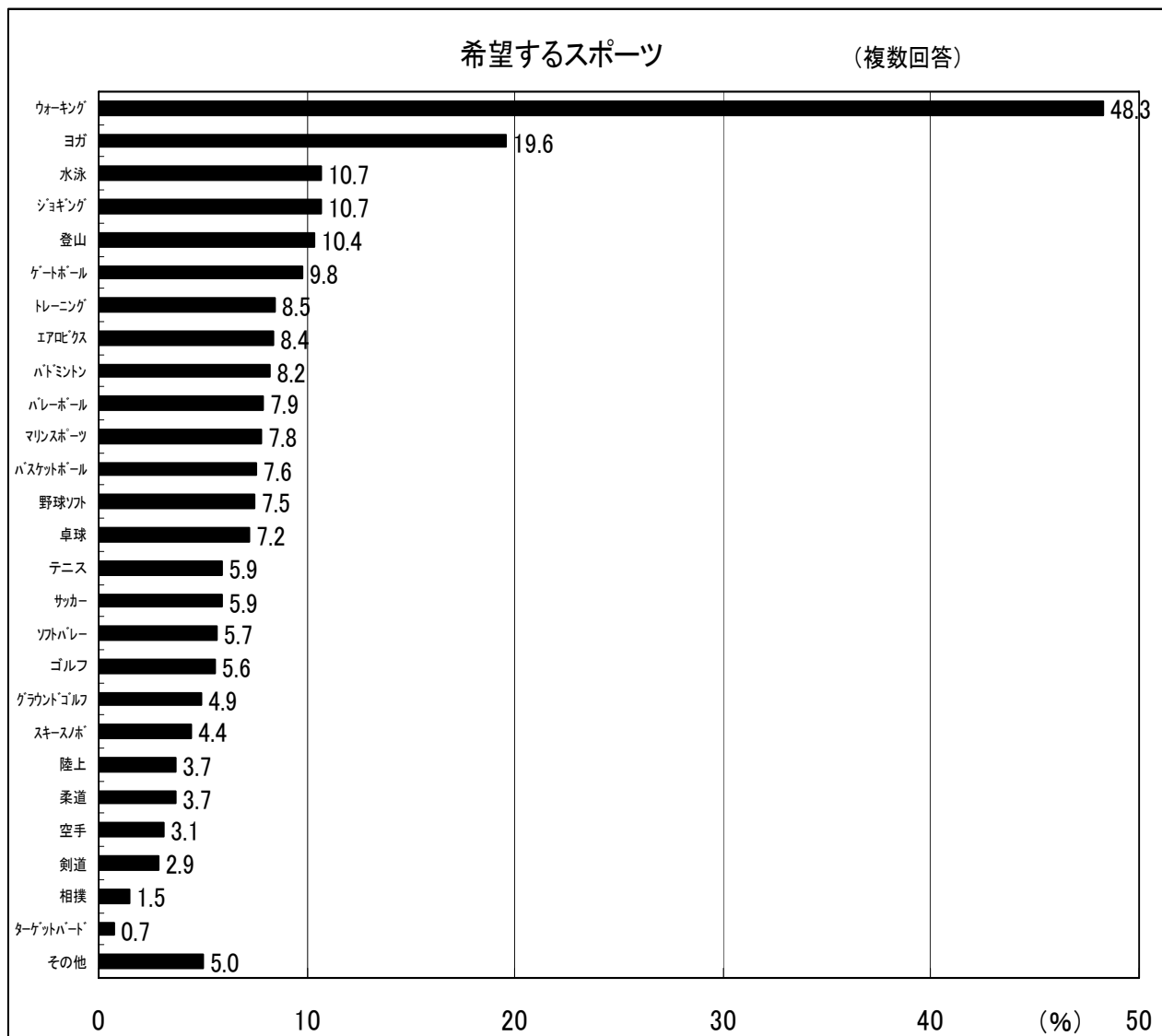
佐渡市生涯学習に関する意識調査より

もどこでも気軽に実施できる健康志向の内容が好まれています。

(3) 各地域単位で行われている事業や活動が多いため、参加者が地域に限定される、同じ時期に同じ内容の事業が実施される傾向にあります。

(4) プロ選手やプロのスポーツ団体が行う事業も多くなってきており、その観戦や事業への参加をきっかけにしてスポーツに興味を持つ場合も多くなっています。





佐渡市生涯学習に関する意識調査より

推進の方策

- (1) 「スポーツの日」や「スポーツの祭典」など市民が気軽にスポーツに参加できる場を設定して、市民のスポーツ意識やスポーツ実施率の向上、スポーツ愛好者の拡大に努めます。
- (2) 参加者の形態、スポーツのレベル、参加者のニーズを把握するとともに、目的や対象者、実施する内容を明確にして、隣接地域との連携や協力を図るなど事業の効率化を目指します。
- (3) 身近な施設の有効利用を図るとともに、事業や活動の時間を工夫して、市民の参加率やスポーツ実施率の向上を目指します。
- (4) プロ選手やプロの団体が行う試合や事業を積極的に活用していきます。

●高齢者のスポーツ推進

基本的な考え方

佐渡市はすでに超高齢社会となっています。高齢者が生きがいをもって、生涯健康で明るく生きるために、健康管理が重要になります。豊かな社会生活を送るための基本となる健康と体力の保持増進を進めます。

現状と課題

- (1) 佐渡の高齢化率は35.3%で今後も増加する傾向にあり、高齢者の健康増進のために運動やスポーツを推進することが必要です。
- (2) これまでも社会教育、福祉、保健の各分野で様々な事業や活動が行われてきましたが、今後も増加する高齢者の健康を保持・増進させるためにも関係機関の協力体制の整備、連携、協働が求められています。
- (3) 高齢者が自宅から遠い会場や場所に行くには、車の運転など交通の面で不安があります。また、高齢者の中には公共交通機関を使わなければ会場に行けない人もいます。



ゲートボール大会

推進の方策

- (1) スポーツの指導、医療等のケアを充実させるために、社会教育、福祉、保健が連携した健康増進プログラム事業を実施します。
- (2) 高齢者が安全に、安心して参加できるように身近な施設の有効利用、利用しやすい施設への改善を図ります。
- (3) 高齢者が自主的に事業や活動が行えるように、自主グループの育成、リーダーや指導者を養成します。
- (4) 活動を通しての仲間づくりや交流も大切です。仲間づくりや交流ができるような場所や既存の施設を活用します。

※「高齢化率」

65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合を言う。

高齢化率	7～14%	高齢化社会
	15～21%	高齢社会
	22%以上	超高齢社会



シルバー健康づくり教室（ディスクゲッター）

●障がい者のスポーツ推進

基本的な考え方

障がい者のスポーツニーズを把握し、障がい者が必要と考えるスポーツ環境の整備が重要と考えます。障がい者のスポーツ環境の現状と課題を明確にし、障がいのある人との交流活動を進めながらスポーツ環境の整備を推進します。

現状と課題

- (1) 障がいを持つ人たちに対して、これまで健康づくりや運動・スポーツの啓発、奨励が行われていません。
- (2) 特別支援学校、障がい者施設、行政などの関係機関の連携が図れていないため、スポーツの機会の提供が十分ではありません。

推進の方策

- (1) 関係機関との連携を密にし、専門知識を持つ指導者の確保や養成、器具や用具の充実、使いやすい施設等の環境整備が必要です。
- (2) 障がいに応じたスポーツ活動や健常者と障がい者が一緒に活動できるプログラムを充実させ、障がい者が安心して参加できるように支援していきます。
- (3) 障がいに対する理解を広めるため、健常者と障がい者が共に運動・スポーツに参加できるように積極的な情報の発信に努めます。

4 組織的なスポーツ「ORGANIZE」オーガナイズ

【誰もがいつでも好きなスポーツに打ち込むことができる体制づくり】

●事業と運営する組織の充実

基本的な考え方

現状のスポーツ活動のシステムでは、各団体が独自に活動を行っているため、それぞれの団体が担うべき役割を認識する必要があります。そして、それぞれの団体が連携を取り合い、ひとつのスポーツシステムを構築していかなくてはなりません。

地域の人たちが、地域コミュニティの発展を目指して、総合型地域スポーツクラブづくりに取り組める環境を整備し、市民の誰もが身近なところでスポーツに親しむシステムづくりを支援していきます。また、広報紙やホームページ上で各種事業の情報を提供していきます。



幼児スイミング教室

総合型地域スポーツクラブ（元気^{×2} トキめきクラブ）

現状と課題

- (1) これまでは、行政主導の事業や活動が中心だったために、市民が事業に参画する意識や事業経費を受益者が負担するという意識が育まれていません。
- (2) 市民が、スポーツ活動や健康増進に対して気軽に相談する場所やイベントの情報発信、健康スポーツの啓発活動を行う中心機関がありません。
- (3) 地区体育協会、体育指導委員、公民館が主催するスポーツ事業が各地域で盛んですが、取組に差があります。
- (4) 体育協会、競技団体、体育指導委員、総合型地域スポーツクラブ、行政が、生涯スポーツの様々な段階でどのような役割を担うのか明確になっていません。

推進の方策

- (1) 総合型地域スポーツクラブ、市民の自主グループの育成を図り、さらに自主的な組織を強化、充実するためにマネジメントの考えを広め、自分たちでクラブや事業を運営するという意識を育てます。
- (2) 佐渡市のスポーツ推進の中核となる組織を行政の指導の下で設置して専門職員を配置することも必要です。
- (3) スポーツ振興についての関係者会議を開催し、関係する団体との連携・協力体制を充実します。
- (4) スポーツ振興計画の推進と改善にあたっては、スポーツ振興審議会に指導や助言を求め、計画の着実な推進を図ります。



グラウンド・ゴルフ大会

●選手育成のシステムづくり

基本的な考え方

各年代が継続して指導を受けられるように、指導者や関係団体、地域、学校が連携して一貫した指導体制を図ることが大切と考えます。また、個々の競技力を向上させることによって、佐渡のスポーツ全体のレベルアップにつながると考えます。

現状と課題

- (1) 小学生は各地域、中学生・高校生は学校、一般は競技団体が指導の中心となっており、選手育成に関して縦のつながりが薄くなっています。
- (2) 優秀な選手が島外での練習や大会に参加する場合、選手や指導者にかかる経費のほとんどが、自己負担となっており参加しにくい傾向にあります。
- (3) プロ選手やプロの団体が行う地域活動も盛んになってきているので、高いレベルの技術や指導を受ける機会として生かしていかなければなりません。



WAVE2000 キッズサッカー教室

推進の方策

- (1) 子どもの頃から指導や支援が受けられるように、学校と競技団体が連携した指導体制を確立します。
- (2) 優秀な選手や指導者が、県レベルの練習会や合宿、大会に積極的に参加して、競技力を向上させられるように、経費の一部を補助するなど育成支援を充実させます。
- (3) プロのスポーツ選手や団体が実施する事業の積極的な活用を図り、技術の向上や指導技術を学ぶために直接指導を受けたり、見学して学んだりできるように一流選手による講習会の機会を計画的に設けます。



プロ選手による野球教室